

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 2 月 12 日 (2021.2.12)

【公開番号】特開 2018-153326 (P2018-153326A)

【公開日】平成 30 年 10 月 4 日 (2018.10.4)

【年通号数】公開・登録公報 2018-038

【出願番号】特願 2017-51402 (P2017-51402)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 12 月 25 日 (2020.12.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球が入球したことに基づいて所定の特典が付与される特典入球手段と、
 その特典入球手段へと遊技球が入球可能となる第 1 位置と、その第 1 位置よりも遊技球が入球困難となる第 2 位置と、に可変可能な可変手段と、
 判別条件の成立に基づいて判別を実行する判別手段と、
 その判別手段の判別に用いるための判別情報を、所定の取得条件の成立に基づいて取得する判別情報取得手段と、
 その判別情報取得手段によって取得された前記判別情報を、予め定められた特定の数を上限として、前記判別手段の判別に用いられるまで記憶可能な判別情報記憶手段と、
 前記判別手段の判別結果を示すための識別情報を動的表示させる動的表示手段と、
 その動的表示手段による前記識別情報の動的表示における動的表示期間を決定する動的表示期間決定手段と、
 前記判別手段の判別結果が予め定められた第 1 の判別結果となったことに基づいて、当該第 1 の判別結果を示すための前記識別情報の動的表示が開始されてから前記判別手段による新たな判別が実行可能となるまでの間の期間である第 1 期間の間の前記可変手段の可変態様が第 1 可変態様となるように制御する可変制御手段と、
 前記判別手段の判別結果が前記第 1 の判別結果とは異なる第 2 の判別結果となったことに基づいて、当該第 2 の判別結果に対応する判別が実行された時点における遊技状態とは異なる遊技状態を設定可能な遊技状態設定手段と、
 前記判別手段の判別結果が前記第 2 の判別結果となったことに基づいて、前記可変手段が所定期間、前記第 2 位置から前記第 1 位置へと可変する可変遊技を実行する可変遊技実行手段と、
その可変遊技実行手段によって実行される可変遊技の種別として、前記第 1 可変態様と区別し難い見た目となる特定可変態様が少なくとも含まれる第 2 可変態様で前記可変手段が可変される第 1 可変遊技と、前記第 2 可変態様とは異なる第 3 可変態様で前記可変手段が可変される第 2 可変遊技と、を少なくとも含む複数のうち 1 の種別を決定する種別決定手段と、

前記判別情報記憶手段に対して前記特定の数の前記第 1 の判別結果に対応する前記判別情報が記憶されている状況において、前記特定の数の前記判別情報のうち最初の前記判別情報に対応する前記識別情報の動的表示が開始されてから、前記最初の前記判別情報に対応する前記識別情報の動的表示の開始時点で前記判別情報記憶手段に記憶されていた前記判別情報の中で最後に判別に用いられる前記判別情報に対応する判別結果が示されるまでの所定の前記第 1 期間の間の前記可変手段の可変態様を、前記第 2 可変態様の一部と区別し難い見た目とする手段と、

前記判別情報記憶手段に前記判別情報が記憶されている場合に、当該記憶されている前記判別情報を用いた判別で前記第 1 の判別結果となる可能性を遊技者に示唆可能な演出を、前記判別情報が前記判別手段の判別に用いられるよりも前に実行可能な手段と、を備え、

前記判別手段の判別結果が前記第 1 の判別結果となる確率は、前記第 1 の判別結果以外の判別結果となる確率よりも高く設定されていることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

遊技球を発射可能な発射手段を備えることを特徴とする請求項 1 記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

パチンコ機等の遊技機には、始動入賞口への遊技球の入賞に基づいて行われる抽選の結果が当たりだった場合に、当たり状態へと移行するものがある。かかる遊技機の中には、例えば、ラウンド数の異なる複数種類の当たり種別が設けられているものがあり、獲得できる遊技価値を異ならせることにより、興趣向上を図っているものがある。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかしながら、更なる興趣向上が求められていた。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

この目的を達成するために請求項 1 記載の遊技機は、遊技球が入球したことに基づいて所定の特典が付与される特典入球手段と、その特典入球手段へと遊技球が入球可能となる第 1 位置と、その第 1 位置よりも遊技球が入球困難となる第 2 位置と、に可変可能な可変手段と、判別条件の成立に基づいて判別を実行する判別手段と、その判別手段の判別に用いるための判別情報を、所定の取得条件の成立に基づいて取得する判別情報取得手段と、その判別情報取得手段によって取得された前記判別情報を、予め定められた特定の数を上限として、前記判別手段の判別に用いられるまで記憶可能な判別情報記憶手段と、前記判別手段の判別結果を示すための識別情報を動的表示させる動的表示手段と、その動的表示手段による前記識別情報の動的表示における動的表示期間を決定する動的表示期間決定手段と、前記判別手段の判別結果が予め定められた第 1 の判別結果となったことに基づいて、当該第 1 の判別結果を示すための前記識別情報の動的表示が開始されてから前記判別手段による新たな判別が実行可能となるまでの間の期間である第 1 期間の間の前記可変手段

の可変態様が第1可変態様となるように制御する可変制御手段と、前記判別手段の判別結果が前記第1の判別結果とは異なる第2の判別結果となったことに基づいて、当該第2の判別結果に対応する判別が実行された時点における遊技状態とは異なる遊技状態を設定可能な遊技状態設定手段と、前記判別手段の判別結果が前記第2の判別結果となったことに基づいて、前記可変手段が所定期間、前記第2位置から前記第1位置へと可変する可変遊技を実行する可変遊技実行手段と、その可変遊技実行手段によって実行される可変遊技の種別として、前記第1可変態様と区別し難い見た目となる特定可変態様が少なくとも含まれる第2可変態様で前記可変手段が可変される第1可変遊技と、前記第2可変態様とは異なる第3可変態様で前記可変手段が可変される第2可変遊技と、を少なくとも含む複数のうち1の種別を決定する種別決定手段と、前記判別情報記憶手段に対して前記特定の数の前記第1の判別結果に対応する前記判別情報が記憶されている状況において、前記特定の数の前記判別情報のうち最初の前記判別情報に対応する前記識別情報の動的表示が開始されてから、前記最初の前記判別情報に対応する前記識別情報の動的表示の開始時点で前記判別情報記憶手段に記憶されていた前記判別情報の中で最後に判別に用いられる前記判別情報に対応する判別結果が示されるまでの所定の前記第1期間の間の前記可変手段の可変態様を、前記第2可変態様の一部と区別し難い見た目とする手段と、前記判別情報記憶手段に前記判別情報が記憶されている場合に、当該記憶されている前記判別情報を用いた判別で前記第1の判別結果となる可能性を遊技者に示唆可能な演出を、前記判別情報が前記判別手段の判別に用いられるよりも前に実行可能な手段と、を備え、前記判別手段の判別結果が前記第1の判別結果となる確率は、前記第1の判別結果以外の判別結果となる確率よりも高く設定されている。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

請求項2記載の遊技機は、請求項1記載の遊技機において、遊技球を発射可能な発射手段を備える。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明の遊技機によれば、遊技球が入球したことに基づいて所定の特典が付与される特典入球手段と、その特典入球手段へと遊技球が入球可能となる第1位置と、その第1位置よりも遊技球が入球困難となる第2位置と、に可変可能な可変手段と、判別条件の成立に基づいて判別を実行する判別手段と、その判別手段の判別に用いるための判別情報を、所定の取得条件の成立に基づいて取得する判別情報取得手段と、その判別情報取得手段によって取得された前記判別情報を、予め定められた特定の数を上限として、前記判別手段の判別に用いられるまで記憶可能な判別情報記憶手段と、前記判別手段の判別結果を示すための識別情報を動的表示させる動的表示手段と、その動的表示手段による前記識別情報の動的表示における動的表示期間を決定する動的表示期間決定手段と、前記判別手段の判別結果が予め定められた第1の判別結果となったことに基づいて、当該第1の判別結果を示すための前記識別情報の動的表示が開始されてから前記判別手段による新たな判別が実行可能となるまでの間の期間である第1期間の間の前記可変手段の可変態様が第1可変態様となるように制御する可変制御手段と、前記判別手段の判別結果が前記第1の判別結果とは異なる第2の判別結果となったことに基づいて、当該第2の判別結果に対応する判別が実行された時点における遊技状態とは異なる遊技状態を設定可能な遊技状態設定手段と、

前記判別手段の判別結果が前記第 2 の判別結果となったことに基づいて、前記可変手段が所定期間、前記第 2 位置から前記第 1 位置へと可変する可変遊技を実行する可変遊技実行手段と、その可変遊技実行手段によって実行される可変遊技の種別として、前記第 1 可変態様と区別し難い見た目となる特定可変態様が少なくとも含まれる第 2 可変態様で前記可変手段が可変される第 1 可変遊技と、前記第 2 可変態様とは異なる第 3 可変態様で前記可変手段が可変される第 2 可変遊技と、を少なくとも含む複数のうち 1 の種別を決定する種別決定手段と、前記判別情報記憶手段に対して前記特定の数の前記第 1 の判別結果に対応する前記判別情報が記憶されている状況において、前記特定の数の前記判別情報のうち最初の前記判別情報に対応する前記識別情報の動的表示が開始されてから、前記最初の前記判別情報に対応する前記識別情報の動的表示の開始時点で前記判別情報記憶手段に記憶されていた前記判別情報の中で最後に判別に用いられる前記判別情報に対応する判別結果が示されるまでの所定の前記第 1 期間の間の前記可変手段の可変態様を、前記第 2 可変態様の一部と区別し難い見た目とする手段と、前記判別情報記憶手段に前記判別情報が記憶されている場合に、当該記憶されている前記判別情報を用いた判別で前記第 1 の判別結果となる可能性を遊技者に示唆可能な演出を、前記判別情報が前記判別手段の判別に用いられるよりも前に実行可能な手段と、を備え、前記判別手段の判別結果が前記第 1 の判別結果となる確率は、前記第 1 の判別結果以外の判別結果となる確率よりも高く設定されている。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】1018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【1018】

10	パチンコ機（遊技機）
65a	特定入賞口（ <u>第 1 実施形態における特典入球手段</u> ）
65f1	開閉扉（ <u>第 1 実施形態における可変手段</u> ）
112	発射制御装置（ <u>第 1 および第 2 実施形態における発射手段</u> ）
203b	第 2 特別図柄保留球格納エリア（ <u>第 1 および第 2 実施形態に</u>
おける判別情報記憶手段）	
650	<u>可変入賞装置（第 2 実施形態における可変手段）</u>
650a	<u>特定入賞口（第 2 実施形態における特典入球手段）</u>
S220	<u>第 1 および第 2 実施形態における可変遊技実行手段</u>
S305	<u>第 1 および第 2 実施形態における判別手段</u>
S307, S309	<u>第 1 および第 2 実施形態における動的表示期間決定手段</u>
S310	<u>第 1 および第 2 実施形態における動的表示手段</u>
S406	<u>第 1 および第 2 実施形態における判別情報取得手段</u>
S1004	第 2 可変制御手段
S1005	第 1 および第 2 実施形態における可変制御手段
S1110	第 1 実施形態における遊技状態設定手段
S1123	第 2 実施形態における遊技状態設定手段